



令和4年4月10日 第1回開催

▲常連のお客さんから初めて葛塚市を訪れた人まで、たくさんの方ににぎわう様子。会場には葛塚市常店の大きなテントから今どきのキッチンカーまで多数の店舗が並びました。

と同様全国的に苦戦傾向にあるという露店市場。大倉さんが子どもへの頃は、葛塚市では現在よりはるかに多くの露店が立ち並び、学校帰りに友人と一緒に市をひやかして買い物をするのが楽しかったといます。「何とか出店者を増やし、自分が小さかった頃のような活気を取り戻したい。今の子どもたちにガラガラな市ではなく活気に満ちた市を楽しんでほしい」という想いから、うまいもん市場を始めました。

も限られたなかで知恵を出し合ってきました。コロナ禍で断念せざるを得ない企画も多く、うまいもん市場にどんなお店があったら行きたくなるか小学校でアンケート調査を行ったり、商工会・商店街を通して呼びかけを行うなどして出店者を募りました。行政からは同委員会のメンバーでもある北区役所産業振興課の吉岡大輔さんが協力。「北区では区広報やSNSでのPRのほか、当日の運営や感染症対策などでサポートしました。告知ポスターも実は区役所職員の制作です。地域の文化宝である露店市を盛り上げようとみんなで立ち上げました」と吉岡さん。

出会いと交流の場所 市が紡ぐまちづくり

うまいもん市場は、今年5月以降10月まで計11回開催予定。地元飲食店が提供するお弁当やスイーツ、ドリンクなどはもちろん、雑貨やリラクゼーションなど飲食以外のお店や商工会青年部による子ども向けの射的やスパーボールすくいなどのブースもあります。「北区にはトマトやサツマイモなどの豊富な農産物、そして海や川も近いことから新鮮な魚介もあり、豊かな食材が揃います。そして和食から洋食まで名店も数多く、うまいもん市場はそうしたワンランク上の料理を手軽に楽しめる



# 葛塚市場 巻頭集 にぎわいはイチから生まれる！ うまいもん市場の楽しみ方

新潟市北区で約260年続いてきた「葛塚市」。農産物、海産物などの食品から衣料品や種苗など、長年地域の暮らしを支えてきた伝統あるこの市で、今年新しい試みが始まりました。北区の「うまいもん」をきっかけに今までない市の楽しみ方を提供する「葛塚市場 うまいもん市場」についてお届けします。

## 北区自慢の味が集結 市で楽しむうまいもん

JR豊栄駅から徒歩5分、新潟市北区役所からほど近い通りで開催されている「葛塚市」。通常月6回開かれてきたこの市で、今年4月から新たに始まった催しが「葛塚市場 うまいもん市場」です。うまいもん市場では地元飲食店によるちよっと贅沢な限定弁当や軽食、スイーツなど自慢のグルメが大集合。露店が立ち並び通りをのんびり歩きながら、北区が誇る「うまいもん」の数々と出合えるのが魅力です。うまいもんのラインアップは、老舗割烹からイタリアン、フレンチ、カフェ、ベーカリーに酒蔵など多岐に渡ります。もちろんいつもの葛塚市に軒を連ねる野菜や果物、魚介などの食品や日用品、雑貨などを販売する店舗も加わって、会場となる常盤町通りはまるで縁日のような賑わいに包まれます。

企画の中心となったのは「葛塚市活性化実行委員会」。昨年10月にまずお試し版が単独開催され、今年4月から葛塚市の定期イベントとして本格的にスタートしたばかり。同委員会実行委員長を務める大倉雄二さんは、「イベント当日は近隣の方や家族連れなど若い世代も数多く足を運び、ふだんの市を大きく上回る盛り上がりでした」と話します。「各店舗が販売するお弁当は昨年秋のプレ開催時から大好評で、平均的に少々高めの価格設定だったにも関わらずあつという間に売り切れたところもあります。味についても高評価の声が多数寄せられ、改めて地域の飲食店の質の高さを感じました」。

## あの活気をもう一度 葛塚市再興への想い

そもそも「うまいもん市場」のプロジェクト発足のきっかけは、葛塚市存続への危機感からだったと語る大倉さん。「江戸時代から続き、かつては300軒もの店が並んだ歴史ある葛塚市ですが、年々出店数も減少し高齢化も進んでいます。また、近隣の大学に通う若者が多い地域にも関わらず高齢のお客様を中心。このままでは葛塚市が失われてしまうのではないかと思います。郊外の大規模店の影響もあり、地元商店街・小売店へ



新潟市北区役所産業振興課 吉岡 大輔さん

行政代表として実行委員会をサポート。「北区が誇る露店市・葛塚市と松浜市。市を盛り上げようと奮闘する市場のみんなのパワーと人情をぜひ感じてください」



葛塚市活性化実行委員会委員長 創案 大倉 雄二さん

地域の産業は地域で守り、盛り上げる。熱い想いを胸に葛塚市再興に尽力。「仲よくなればお徳もたくさん。市ならではの人情味ある買い物をぜひ体験してください」



き込んで一緒に展示や販売をしたりしながら、新潟市中心部や北区の外からも人が呼び込めるような催しになればと思います。そして、いずれは葛塚市とうまいもん市場双方が垣根なくにぎわうような仕組みをつくり、何より地元で暮らすすべての世代の人々が楽しめて、また買い物にきたいと思える市、次の100年へと続く活気あふれる市を目指しています。すでに「うまいもん市場」への出店をきっかけに、平日開催の葛塚市にも出店を果たした飲食店もあるとか。早速うれしい相乗効果が生まれているようです。

露店市での小さな出会いが新たなにぎわい、新たな地域活性のきっかけとなるはず。さまざまな世代が交流し楽しんで暮らせるまち、人情味あふれる豊かなまちづくりを目指す「うまいもん市場」と葛塚市の取り組みに今後注目です。北区の食と市の魅力が味わえる「うまいもん市場」ぜひ出かけてみてください。

## 葛塚市 今・むかし

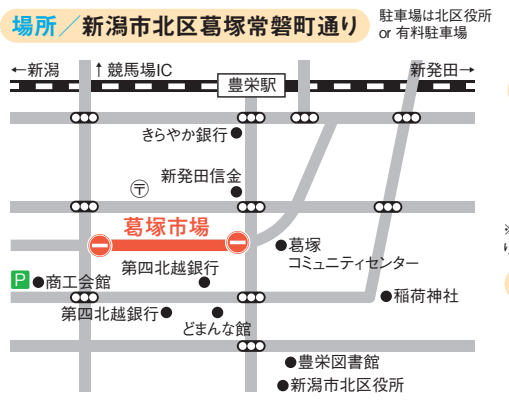
開設は江戸中期の1761年。以来約250年続き、葛塚集落の食と暮らしを支えてきました。最盛期には300もの出店者で通りが埋め尽くされたそうですが、現在は後継者不足により約60店と減少。組合長の田邊さんによると「71歳の自分が若手と言われる」というほどの高齢化が深刻とのこと。

葛塚市の魅力は、何となくとも地元農家の野菜や果物、新鮮な魚介などが安く手に入ること。会場である常盤町通りは、新潟県立豊栄高校芸術コースの生徒がデザインしたアーチ形の看板が目印で、露店市では珍しいショッピングカートも導入されており買い物ができます。葛塚市で6/5(日)、松浜市で6/12(日)に発売されるお得なプレミアム商品券、新潟市の共通プレミアム商品券も利用可能。開催日は毎月1・5・10・20・25日(8:00~13:00頃)。



豊栄市場商組合長 田邊 則夫さん

「出店者募集中！ 料金は組合員以外でも一律300円。当日の申告でも大丈夫なので、出店や起業を考えている人はぜひ気軽に利用してください」



## 葛塚市場 うまいもん市場 (9:00~13:00)

- 開催日
- 5/1(日)・15(日)、6/5(日)・25(土)
  - 7/10(日)、8/13(土)・20(土)
  - 9/10(土)・25(日)、10/1(土)・15(土)

※天候などの影響や商品、店舗都合により終了時間が早まる場合があります。※出店者は毎回異なります。

問合せ・出店申込み 出展者募集中

まちづくり豊栄 ☎025-386-1212 ✉tmo@icss.jp

内容、最新情報は公式Instagramにて @kuzutuka\_ichi